



つくば市 実務研修報告

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/index.html>

目次

- 研修概要（実施スケジュール、研修先など）
- 研修中に得た学びや気づき
- 研修後に感じたこと

研修概要

研修概要

◆実施スケジュール

1月14日（火）～1月16日（木）	つくば市立春日学園義務教育学校
1月17日（金）	つくば市教育局学び推進課
1月20日（月）～1月24日（金）	つくば市立春日学園義務教育学校

研修概要

◆実施スケジュール

		1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	放課後
1月15日	水	学活5-2 佐川先生		算数6-3 三村先生		児童生徒フォーラム 久貝先生		教育計画策定委員会 中間報告会
1月16日	木		算数2-1 桃井先生	体育6-4 濱野先生		英語6-2 佐川先生		
1月17日	金	※終日つくば市役所						
1月20日	月	国語7-2 江幡先生		数学7-2 野中先生	理科7-3@理科室2 t1:北原先生 t2:永野先生			職員会議
1月21日	火			填補(国語)2-1 柴崎先生		体育8-1 國谷先生		
1月22日	水	生活1-1(学年合同) 杉本先生		日本語@日本語教室1 小暮先生				
1月23日	木	国語1-1 杉本先生		理科3-1 岩本先生		ツクスタ 石川先生	社会6-3 柴崎先生	
1月24日	金	おひさま1 千葉先生	日本語@日本語教室2 内倉先生					

研修概要

◆つくば市立春日学園義務教育学校について

【沿革】

- ・平成24年に施設一体型の小中一貫校として、つくば市立春日小学校と春日中学校が開校
- ・学校教育法第1条の改定に伴い、平成28年度から全国で初めての義務教育学校「つくば市立春日学園義務教育学校」となる。

【児童・生徒数（令和6年度）】

1005名（前期課程641名＋後期課程364名）

【教職員数（令和6年度）】

106名（常勤職員73名＋会計年度任用職員33名）

研修中に得た学びや気づき

研修中に得た学びや気づき

多様な児童生徒一人一人が
充実した学校生活を送るための環境が整えられている

◆特別支援学級

- クラスは学年とは別に「自閉症・情緒障害」と「知的障害」でも分けられている
⇒学園内に10教室以上設置
- 「自閉症・情緒障害」クラスに通う児童生徒について
 - ・登校時は交流学級（通常の学級）へ向かい朝の挨拶を行う
 - ・その後、教科に応じて交流学級と特別支援学級とを行き来する
 - ・週の半分以上は特別支援学級で授業を受けなければならない※が、その教科については、学校が保護者へヒアリングし、柔軟に対応している

※「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（4文科初第375通知）」に基づく

◆校内フリースクール

- 教室に通えない又はいづらいつと感じる児童生徒が自らのペースで学習したり、過ごしたりする空間
- 春日学園を含むつくば市立の小・中・義務教育学校全体に設置
- 教員免許を持つ支援員と、その補助を行う補助員の2名体制で運営
- 春日学園には、校内フリースクールが2教室分設置されており、それぞれに支援員と補助員が1名ずつ在籍

◆日本語教室

- 外国人児童生徒や海外から帰国した日本人児童生徒などが対象
⇒春日学園では約70名在籍（1学級あたり3～5名）
- 日本語のレベル（「初級者」or「中・上級者」）で教室が分かれており、
それぞれに日本語教員が1名ずつ在籍
- 対象の児童生徒は、国語の時間に、自身の日本語レベルに該当する教室へ移動
- レベル別に教室は分けられているが、児童生徒間で細かな習熟度に差がある
⇒パーティションで教室を区切り、それぞれ異なる内容の授業を行っている

研修中に得た学びや気づき

義務教育学校の特性を活かし、児童生徒だけではなく
教員にとっても過ごしやすい（≒働きやすい）環境が整えられている

◆教科担任制

- 春日学園では5年生以上で教科担任制を導入
- 対象の教員は特定の教科の授業のみ行うため、授業準備の負担減
- 児童生徒の課題について、教科担任間で共有・対応するため、心理的な負担減
⇒一方で、情報共有が大変でむしろ負担増との声も…
- 7～9年生は教科担任間の会議が放課後ではなく、時間割に組み込まれている

◆教職員が多数在籍

○授業の代講が立てやすいため、研修を受講したり、休暇を取得したりしやすい

○教員を補助する会計年度任用職員が多数在籍

例) ・ **学校相談員**：児童生徒の悩み相談や授業中の児童生徒の見守り支援を行う

・ **学校サポーター**：教材の印刷や採点、学校行事の準備等行う

・ **特別支援学級支援員**：特別支援学級や低学年学級の授業の補助を行う

⇒一方で、人事・勤怠・給与等を管理する教頭や事務職員の負担増

⇒特に、会計年度任用職員は、つくば市教育局の各課室で採用・管理を行っており、当該職員に関する照会や報告を行う際は、各担当課室とのやり取りが必要

研修後に感じたこと

研修後に感じたこと

- 様々な学びや気づきが得られ、また、児童生徒との交流もでき、非常に充実した2週間であった
- 他の学校ではどのような授業や学校運営が行われているのか
(義務教育学校以外の学校は？茨城県内の他の学校は？他の都道府県の学校は？)
- 春日学園のような体制を整えたくても整えられない学校に対して、教職員支援機構の職員としてはどのような支援ができるだろうか

貴重な機会をありがとうございました